



## 安全データシート

**1.化学品及び会社情報**

化学物品等の名称	メチルジフェニルアミン
製品コード	MDPA
会社名	株式会社 三星化学研究所
住所	京都市北区上賀茂北ノ原町 14 番地
担当部門	開発・技術部
電話番号	075-781-1177
FAX 番号	075-701-7227
緊急連絡電話番号	075-781-1177
推奨用途及び使用上の制限	医薬、有機合成化合物

**2.危険有害性の要約**

物理化学的危険性	該当なし
健康に対する有害性	
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
環境に対する有害性	該当なし

**GHS ラベル要素**

絵表示（ピクトグラム）

注意喚起語  
危険有害性情報警告  
皮膚刺激  
強い眼刺激注意書き  
安全対策

応急措置

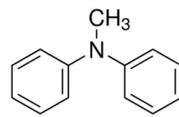
取り扱い後は手や顔をよく洗うこと。  
保護手袋、保護眼鏡を着用すること。  
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

**3.組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	N-メチルジフェニルアミン
別名	N-メチル-N-フェニルアニリン
組成物質	N-メチルジフェニルアミン
濃度又は濃度範囲	99.0%以上

分子式 (分子量)  
化学特性 (示性式又は構造式)

C<sub>13</sub>H<sub>13</sub>N (FW=183.24)



CH<sub>3</sub>(C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>N

CAS 登録番号 (CAS RN)  
官報公示整理番号 (化審法)  
官報公示整理番号 (安衛法)

552-82-9  
(3)-364

昭和 54 年 6 月 29 日までに化審法の規定により  
公示された化学物質

化管法指定化学物質の種別  
分類に寄与する不純物及び安定化添加  
物

該当しない  
なし

#### 4.応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で  
休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、  
手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取  
り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚  
刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、  
手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレン  
ズを容易に外せる場合は外して洗うこと。眼の  
刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受け  
ること。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける  
こと。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意  
事項

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具  
を着用する。

#### 5.火災時の措置

適切な消火剤

粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特有の危険有害性

高温により分解し、有毒なヒュームを発生する  
恐れがあるので注意する。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じ  
た適切な消火方法を用いる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び  
予防措置

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

#### 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊  
急時措置

関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切  
な保護具 (8.ばく露防止措置及び保護措置の項  
を参照) を着用し、眼、皮膚への接触やガスの  
吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよ  
うに注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させ

二次災害の防止策

て回収する。  
すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

火気注意。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

接触回避

適切な保護具を着用する。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合は洗濯すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

容器を密栓して冷暗所に保管する。

不活性ガスを充填する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

防毒マスク、簡易防毒マスク等。

手の保護具

保護手袋。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具

保護衣。状況に応じ、保護長靴。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
物理状态	淡黄色ないし淡褐色透明
色	特有な薬臭
臭い	
融点・凝固点	-7.5 °C (EPA DSSTox)
沸点又は初留点及び沸点範囲	293.5 °C (EPA DSSTox)
可燃性	情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし。
引火点	150°C (弊社データ、クリーブランド開放式)
自然発火点	情報なし。
分解温度	情報なし。
pH	情報なし。
動粘性率	情報なし。
溶解度	情報なし。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	3.9 (EPA DSSTox)
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	1.05 (25°C) (Chemicalbooks)
相対ガス密度	情報なし。
粒子特性	情報なし。
その他データ	情報なし。

## 10.安定性及び反応性

反応性	通常取り扱いにおいては安定。
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特に危険な反応は報告されていない。
避けるべき条件	酸、酸化剤との接触。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素, 一酸化炭素, 窒素酸化物

## 11.有害性情報

急性毒性 (経口)	情報なし。分類できない。
急性毒性 (経皮)	情報なし。分類できない。
急性毒性 (吸入：気体)	情報なし。分類できない。
急性毒性 (吸入：蒸気)	情報なし。分類できない。
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	情報なし。分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	ECHA(European Chemical Agency) において Category2 に分類されている。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ECHA において Category2 に分類されている。安全性を考慮して区分 2A とした。
呼吸器感作性	情報なし。分類できない。
皮膚感作性	情報なし。分類できない。
生殖細胞変異原性	情報なし。分類できない。
発がん性	情報なし。分類できない。
生殖毒性	情報なし。分類できない。
生殖毒性・授乳影響	情報なし。分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	情報なし。分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	情報なし。分類できない。

誤えん有害性

情報なし。分類できない。

---

## 12.環境影響情報

生態毒性

情報なし。分類できない。

水生環境有害性 (短期/急性)

情報なし。分類できない。

水生環境有害性 (長期/慢性)

情報なし。分類できない。

残留性・分解性

情報なし。分類できない。

生態蓄積性

情報なし。分類できない。

土壌中の移動性

情報なし。分類できない。

オゾン層への有害性

情報なし。分類できない。

---

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託すること。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14.輸送上の注意

国際規制

国連番号

設定されていない。

品名 (国連輸送名)

設定されていない。

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

設定されていない。

国内規制

海上規制情報

船舶安全法に基づく危険物船舶運送及び貯蔵規則 (危規則) に従う。

航空規制情報

IATA 航空危険物規則書に従う。

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

その他 (一般的) 注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15.適用法令

労働安全衛生法

該当しない。

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない。

毒物及び劇物取締法

該当しない。

化審法

該当しない。

消防法

第4類 第三石油類 非水溶性

大気汚染防止法

該当しない。

水質汚濁防止法

該当しない。

---

## 16.その他の情報

引用元は括弧書きでデータの横に記した。

---

### <記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱には注意してください。なお、注意事項については通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱願います。